

平成28年7月1日(金)

SSA通信 平成28年7月号

370-0068 高崎市昭和町180-14

TEL 027(326)6220

Fax027(326)6249

SSA ジュニアフォーラム

携帯 090-7281-7972

学び方十則 ③ 「やり始めた事は、最後までやりとげよう。」

皆さんは毎回の授業の際に、先生からその日の学習内容を提示されます。そして、それまでに身につけた正しい方法で、その課題に挑戦し、結果を先生に確認してもらい、また新たな課題に挑戦していきます。

このことを繰り返すことによって、ただ単にその教科の知識が得られるだけでなく、様々な能力が伸び、課題をやりとげたことで得られる達成感から、精神的にも成長します。これは、SSAが学習の3要素として位置づけている「知識・操作・意思」が鍛（きた）えられ、成長していくということで、皆さんが社会に出て何かに取り組む時の“姿勢”に通じることです。つまり、皆さんは、学習をすることで、社会で生きていくために必要な“力”を身につけているわけです。その際に特に心がけておいてほしいことをまとめたものが、「学び方十則」ですが、今回はその中の「やり始めた事は、最後までやりとげよう。」ということについて考えてみたいと思います。

歴史上のあらゆる偉人に共通していえるのは、「達成心が強い」ということだそうです。達成心とは、困難にめげず、粘り強くものごとをやりとげようとする心です。戦国時代の武将“織田信長”に仕えた“豊臣秀吉”は、はじめ信長の“草履（ぞうり）取り”でした。秀吉はその時、日本一の草履取りになろうと考えました。与えられた仕事を最高のレベルでやろうとしたのです。次に“薪（まき）奉行”になった時は、日本一の薪奉行になろうとしました。このように、常に最高の仕事を心がけた結果、秀吉は“関白”という政治の実権を握る地位にまでのぼりつめたのです。



やり始めたことを最後までやらずに、途中でやめてしまうとどういうことになるか考えてみましょう。例えば、家を建てるのが仕事だとします。はじめは

やる気満々で、毎日毎日頑張っていました。しかし、どうしても自分の思っていた通りにいかないことが生じてしまい、それでやる気をなくし、途中でやめてしまいました。この結果どういことが起きるでしょう。

その人が個人でその仕事をやっていたのであれば、おそらくもうその人に仕事を頼む人はいなくなるでしょう。つまり、その人は失業します。では、その人が家を建てる会社に勤めていた場合はどうでしょう。会社はその人のせいで社会的信用を失うという大きな迷惑を受けるわけですから、その人は会社を辞めさせられるかもしれません。この場合も失業します。つまり、途中でやめることで、生きていく手段である“仕事”を失うわけです。



皆さんは、今、こう思っているかもしれません。「まさか仕事なら途中で放り出さないで最後までやるよ。だって、仕事ならそんなわけがないから」でも、本当にそう言い切れるでしょうか。それなら、なぜ、毎日毎日、「えっ、どうして」と思われるような事が起きるのでしょうか。自分で「これをやろう」と決めたことを、「もういいや。やめよう」と、途中でやめてしまっていたら、はじめに述べた学習の3要素である「知識・操作・意思」は鍛えられません。それをずっと続けていると、取り組む対象が、“学習”から“仕事”に変わっても、同じことは十分起こり得ます。

「仕事ならたぶん最後までやるよ。でも、勉強はいいじゃないか。だって、途中でやめたって、誰にも迷惑はかからないんだから」こう考える人もいるでしょう。自分の学習を途中でやめても、他の人の迷惑にはならないということなのでしょうが、それは間違っています。自分で自分を成長させないことになるからです。そういう人ばかりになってしまうと、前にも述べた通り、自立した一人一人の力で社会が構成される以上、社会というものが成り立たなくなってしまう、これは、自分にとっても、他の人にとっても大迷惑です。

ですから、皆さんは、学習の際、自分の目標を完全にやりとげるよう心がけてください。やりかけたことは、決して途中であきらめないでください。やりとげるための方法は、先生が細かく指導します。また、どうしてもわからないことは、先生に相談すればよいのです。しかし、**学習は、結局は自分がやるのですから、自分が本当に納得したかどうか肝心（かんじん）です。そして、本当にわかる、本当にできることで、自分がどんなに飛躍したか、自分で実感できるでしょう。**

今回の内容を考えながら、以前塾にいたI君のことを思い出していました。I君は、中学1年生の夏休みごろ入塾しました。当時の成績は中位で、ごく普

通の生徒でした。それが、中2になった頃から、めきめき力を発揮しだし、テストの点数や成績がぐんぐん伸びだしたのです。中3の時の夏期プログラムや冬期プログラムでは、毎日、昼食を持参し、正規の授業の後は、黙々と自分の課題に没頭していました。腰の入ったよい姿勢で、まったく席を立たずに、集中して取り組んでいました。「疲れたろう」と帰りに声をかけても、「いえ、大丈夫です」と、淡々としていました。真の集中と大きな達成感が、長時間の学習を、I君にとって心地のよいものに変えていたのだと思います。

学び方十則 ③ 「やり始めた事は、最後までやりとげよう。」を読んで

中1 N. S

自分の思い通りにいかない途中であきらめてしまう時があるので最後までやりとげていきたいです。あきらめず、最後までやりとげると成績も上がり達成感を感じることが出来ます。自分で決めたことは最後までやりたいと思いました。また、自分の目標をあきらめないように心がけていきたいです。自分で自分を成長させるため、進んでいろいろなことに挑戦していきたいです。

私もI君を見習って集中して進んで勉強を取り組み、自分が納得いくまでしっかり勉強していきたいです。

豊臣秀吉は与えられた仕事を最高レベルまでやろうと頑張って関白にまでなりました。秀吉はとてもすごい人だなと感じました。歴史上の人たちは困難にめげず粘り強く物事をやりとげようとする心がありました。どうしてこの人たちはやりとげようという心がそんなに強いのか私には不思議でした。

咲良さんは小学校の時から歴史が好きでしたね。いまNHKの真田丸は見ていますか。安土桃山時代から江戸時代の最初までが描かれていきます。その中に秀吉や家康も出てきます。与えられた仕事を最高レベルまでやったから関白までなったのですね。私たちは歴史から学び、やるべきことを自分が納得のいくまでやれば自分が目標とするところまでは行けると思います。

中1 Y. I

僕はこれを読んで思ったことがあります。それは今の学習のことについてです。最近、期末テストがありました。英語や数学は得意科目で、テスト前までたくさん勉強をしていたのでどちらもよい点をとることができました。ですが、僕の苦手な科目の国語は、しっかりと勉強していましたが、途中で他の教科の勉強を優先してしまいました。他の教科はますますだと思いましたが、国語は悪い点数になってしまいました。他の教科も集中してやったのはよかったのですが、国語もたくさん勉強していればよかったと思いました。次のテストでは、そんなことがないように一つの教科に偏って勉強するのではなく、どの教科も効率よく、そして

途中で放り出さないように集中して学習したいです。将来の仕事もよい仕事を決めて、その仕事を途中でやめることなく、やり始めたことは最後までやりとげたいです。今やっている部活も3年間、ずっと続けていき、部活を楽しみたいです。

中学に入ってから最初のテストは、テスト対策に十分時間をかけたので、すべての科目に十分時間をかけることができたと思っていた。でも、他の教科が気になり、そちらを優先させてしまって国語だけは思いとは別の点数になってしまったということですね。

テストが返されて、その結果から、次のテストに対する心構え、また将来の仕事にも触れています。そのため、部活もしっかりやり続けるとのこと、私もそのように望んでいます。

中2 S. Y

まず僕は、この文章を読んで、与えられた仕事を最高レベルで最後まであきらめないでこなすことで社会的に成功するのだなと思いました。天下統一を目指した武将たちはそのようにして、成功していたということを知りました。僕もこのような武将のように小さなことでも自分のできる限り頑張ろうと思いました。

このことを学習面に生かすというと日頃の勉強やテスト前のたくさんの勉強する期間に「もうこの問題は駄目だ、他の教科を頑張ろう」がそれに当てはまると考えています。駄目だと思っても、できる限り頑張り、やりとげることが重要だと思いました。どうしてもわからない場合でも、学習面では塾があります。塾の先生にわからないところを教えてもらい、理解することで仕事を最後までなしとげることができます。僕はこのように塾ではわからない部分を教えてもらい仕事を達成する助けとして活用していきたいです。

自分でできるものは自分の力でやる、当たり前のことですが、仕事とは違って勉強は口で言うほどやさしくありません。つい自分に甘え楽な方へ自分を導きます。しかし、いろいろな偉人が語っているように、本気でやってみると大抵のことはできるようになっています。教科書、参考書、辞書など周りのものを活用するとほとんどのことが自分の力で解決できます。それでもできないときに質問ですね。その繰り返しがあなただを自立させます。

中3 K. M

本文中に書いてあるように私も「勉強をやめても誰にも迷惑はかからない」と考えてしまうことがあります。でも、そんな考えだと、自分で自分を成長させることができないと通信に書いてありました。また、こういう考え方をする人がたくさんいると自立した一人一人の力で社会が構成される以上社会というものが成り立たなくなってしまうと書いてありました。そんな社会にならないよう一人一人が目標を達成できるよう努力すべきなのだなと考えました。自分もその一人として、やり始めたことは、最後まであきらめず、やり抜こうと思いました。また勉強面であきらめないためには、学習内容をしっかり理解し、勉強をすることに

対してのやる気をなくさないようにしたいと思います。

勉強がわかるということは「理解」することです。丸暗記してテストに望む人がいますが、その時はできでも丸暗記したものは時間とともに消えていきます。ですから、その本質を分かるまで理解すること、わからなければ質問して本当に理解することです。そして、それが定着するにはすらすらできるまで繰り返すことです。「理解」と「繰り返し」で「わかる学習」から「できる学習」になります。

中3 S. R

途中でやめてしまったら、学習の三要素である、知識・操作・意思は鍛えられない。また、途中でやめることは他人に迷惑をかけてしまうので、自分の成長のためにしっかりやりとげる。そして、これからの学習は自分が本当に納得してから進んでいきたいと思いました。

人は「やってできた」という達成感をたくさん身につけることで自立していくのだと思います。その達成感が、「私には本来わかる力が備わっている」という自信になり、それが有能感になり社会人になっていくのだと思います。その元をつくるのが日々の学習です。来年には入試という越えなければならぬ壁がありますね。日々の努力がそれを軽く乗り越えるものにしていくはずですよ。

中3 M. H

通信を読んで、やり始めたことを最後までやりとげる大切さを知りました。僕は何度もやり始めたことを途中でやめてしまうことがありました。文章の中にも書いてあったけれど、仕事を途中でやめれば他の人に迷惑がかかるが勉強をやめても他の人の迷惑にはならないし、困るのは自分だけだと考えてしまうこともありました。けれど、今回の通信を読んで、そのような考えはなくなりました。だからこれからは、自分の目標を完全にやりとげるように心がけていきたいです。

「ここまででいいや」と途中であきらめるか、「最後までやってみよう」と自分の力を信じてやり続けるか、この違いが将来の生き方を決めます。前者は大人になってもいつも言い訳をして途中でやめ、後者はいつでもやりとげる。その将来を決めるのは、TVでおなじみの予備校の先生が言うように、「今」の過ごし方です。5年後、10年後は、「今」という時間の使い方の先にあるからです。「今」の学習の仕方が来年の入試を決めます。まずは、この「夏」。

7月の予定

土曜学習会…7月2日・9日・16日・23日・30日 午後3時から6時までの3時間。

7月21日(木)から夏休みに入ります。できたら7月中に夏の課題を終えたいですね。

塾の学習でも7月いっぱい夏学習を優先してやります。夏頑張ってお充実の秋にしましょう。

私は、今日、何を学んだか？

小4 N. S 速聴速記と算数

今日は速聴速記でパスツールの3をやりました。今は4回読みですが、間違いが5個ありました。3個までなら合格です。もう少しで合格できそうです。そのあと割り算のプリントを2枚やりました。1枚目は100点でしたが、2枚目は86点でした。最後の問題が難しかったです。

Sさんは速聴速記と算数以外にジュニア英語もやっています。6月に入門級に合格して7月から10級に入ります。英語も楽しくなってきたようです。

小4 O. T ジュニア英語

今日はジュニア英語の入門級の7をやりました。少年、うで時計、月、そうの単語を練習しました。そうの an elephant がむつかしかったです。でも7も10点で、今まで全部10点です。検定が楽しみです。

T君は英語が楽しいようです。授業が終わってお母さんが迎えに来るまで、単語カードを使ってカルタ取りをやり、ノートにアルファベット、自分の名前、基本単語の練習をしています。もうすぐ検定、合格はまちがいなしです。

小6 K. M 算数

最初に宿題の算数プリント、漢字1ページやりました。算数のプリントはまちがいがなくできました。漢字はていねいにかけているねと先生に言われてうれしかったです。そのあと分数の割り算のまとめをしました。計算のほうは100点でしたが、文章の問題は先生に説明してもらって分かったので84点でした。次は聞かないで分かるようになりたいです。

Mさんは遠くから通っている関係で週1回しかできません。宿題の算数プリントや漢字が終わった後、算数の文章問題をしています。文章題は読解力を磨きます。一つ一つ言葉を算数の式に変えています。

高1 K. M テスト対策(数学の集合)

今日は久しぶりに塾で勉強しました(3月以来です)。前日にテスト範囲の「集合」と「必要・十分条件」のところが分からないのでそこを教えてほしいと話してあったので、教科書と問題集でそこを教えてもらいました。分からないところが以前よりは減ったので良かったです。

久しぶりにMさんと勉強をしました。期末テストの範囲の勉強であまり理解できていなかったところでした。教科書の例題を書き、理解できたら問題をやってもらい答え合わせをしました。理解できなかったところはもう一度説明し問題集をやってもらいました。テストが楽しみです。

お母さん方、お父さんに是非読んでもらいたい詩があります。

SSA 学習研修会で以前教えてもらったものです。今までの塾通信を読んでいたら偶然見つけました。解説はいらないと思います。

「インディアンの教え」

批判ばかり受けて育った子は、 非難ばかりします。

敵意に満ちた中で育った子は、 誰とでも戦います。

冷やかしを受けて育った子は、 はにかみ屋になります。

ねたみを受けて育った子は、 いつも悪いことをしているような気持ちを持ちます。

心が寛大な人の中で育った子は、 がまん強くなります。

励ましを受けて育った子は、 自信を持ちます。

ほめられる中で育った子は、 いつも感謝することを知ります。

公明正大の中で育った子は、 正義感を持ちます。

思いやりの中で育った子は、 信頼を持ちます。

人にほめられる中で育った子は、 自分を大事にします。

仲間の愛の中で育った子は、 世界の愛を見つけます。

編集後記 5月の初め、地元の小学校の校長先生から、「ボランティアですが、放課後1時間ほど子供たちの算数を見ていただけませんか」と依頼がありました。「民間の力をぜひ貸していただきたい」とも。それで5月16日から6月27日までの全7回指導に行きました。午後3時から4時ころまで。小5、3名、小6、7名の10名を6人のボランティアで見るというぜいたくな指導でした。優秀な子供たちが多く指導にあまり手間取りませんが10月から始まる2学期からは算数を苦手に行っている子供も指導したいと学校に要望しました。小学5・6年生の内容は中学の学習に直結しますから、苦手意識を払しょくして中学に進めたらと思っていますところです。詳細はブログ「塾長日記」に書いています。SSA ジュニアフォーラムから入れます。ぜひお読みください。

夏期プログラム通塾日カレンダー

	月	火	水	木	金	土
7月31日 休	8月1日 夏の課題	2日 夏の課題	3日 夏の課題	4日 夏の課題	5日 夏の課題	6日 休
7日 休	8日 予習	9日 予習	10日 予習	11日 予習	12日 予習	13日 休
14日 休	15日 休	16日 休	17日 休	18日 休	19日 休	20日 休
21日 休	22日 テスト対策	23日 テスト対策	24日 テスト対策	25日 テスト対策	26日 テスト対策	27日 休
28日 テスト	29日 補習	30日 補習	31日 補習	9月1日	2日 平常通り	3日 休

・科目は目安です。課題の進み具合や予習の範囲を見ながら相談して進めていきます。
 ・都合が悪い日は、振り替えをお願いします。7月中、9月中への振り替えも可能です。
 ※7月29日(金)まで平常授業。※9月2日(金)より平常再開。

中3コース……………学習時間 午後 4:00~6:30

上のカレンダー通りです。

16日間(8/1~5・8/8~12・8/22~26)+統一テスト(8/28)

費用 28,350円+(統一テスト代)3,200円

合計 31,550円 ○前半は夏の課題と1・2年の復習。後半は2学期の予習。

中1・2コース…学習時間 午後 6:30~9:00

水曜日以外が講習日です。

12日間(8/1・2・4・5・8・9・11・12・22・23・25・26)

費用 22,680円 ○前半は夏の課題と1・2年の復習。後半は2学期の予習

小学生……………学習時間 午後 4:00~5:30

月・水・金曜日になります。

9日間(8/1・3・5・8・10・12・22・24・26)

費用 15,795円 ○夏の課題、弱点補強、2学期の予習

高校生……………学習時間 午後 4:00~6:30

水曜日以外が講習日です。

12日間(8/1・2・4・5・8・9・11・12・22・23・25・26)

費用 22,680円 ○夏の課題と、弱点補強、2学期の予習

当塾に興味のある方がいらっしゃいましたらご紹介ください。